

現千葉県議会議員



岡村やすあき



環境

自然との共生のなかで、豊かな自然環境を次世代に残すように努めます。

「産業廃棄物不法投棄」の根絶へ
今、千葉県の環境問題は深刻な状態になっていきます。

千葉県の立地を紹介する際に、「三方を海に囲まれ、豊かな自然に恵まれる」と表現されることがありますが、その自然を破壊する「産業廃棄物の不法投棄」が繰り返され行われています。

現在、県を挙げて、より強固な監視指導体制をつくるなど、産業廃棄物等の不法投棄の根絶に向けて取り組んでいます。

その結果、最近の投棄量で最も多かった平成十一年度の約十八万トンと比べますと、平成十五年度は約一万二千トン、平成十六年度は約九千トンと投棄量は激減しています。これらの減少の成果を支えていたものは、官民一体を目指した住民の積極的なご協力でした。

しかし、残念なことですが、少量投棄の件数は増加しています。監視パトロールの隙をつくぐりらの不法投棄が続いているからです。



産業廃棄物を放置していると、メタンガスの発生や地下水汚染等の有害物質の汚染問題が発生します。また、時間が経過しますと、廃棄物が判別できなくなることも考えられます。

産業廃棄物を投棄した業者が不明の場合が多く、判明しても資金不足を理由にして撤去作業がなかなかかどりません。しかし、行政側には、不法投棄した業者を特定した上で、違法行為をした業者に対し断固とした対応をしていくことが求められています。

緊急措置としての行政代執行による撤去がありますが、業者の「捨て得」を招く恐れがあります。また、撤去をするにしても千葉県の厳しい財政状況では、困難なことです。

解決のひとつの手段として、県内のゴミを首都圏全体のゴミと考え、首都圏や国のレベルでの財政支援が必要であると考えています。

四街道市における不法投棄物の撤去は、行政機関はじめ各関係議員等の協力によりまして、かなり改善されてきました。最近では、住民の方のご協力も戴き、鹿放ヶ丘地区の産廃の山の撤去を行うことができました。住民の方からは、たいへん感謝されました。

私は、これからも積極的に環境問題に関わっていき、自然との共生のなかで、豊かな自然環境を次世代に残すために、努力をしていきます。

環境に関する重点目標

- ・ 循環型社会の構築をめざした施策を推進し、その実現に努めます。
- ・ 地球温暖化の防止に取り組みます。
- ・ 一般廃棄物問題に積極的に取り組みます。
- ・ ダイオキシン類、環境ホルモン等の排出抑制に努めます。
- ・ 産業廃棄物、残土処理等の対策に取り組みます。
- ・ 印旛沼の水質浄化対策に取り組みます。

